

科学技術振興調整費における プログラムオフィサーの役割

平成 1 7 年 1 月 2 0 日

文部科学省

科学技術振興調整費室室長補佐

高岸 陽一郎

科学技術振興調整費におけるPD・PO制度の導入

- 科学技術振興調整費においては、「競争的研究資金制度改革について」(平成15年4月21日総合科学技術会議)を踏まえ、平成16年度公募から本格的にPD・PO制度を導入
- 現在の体制としては、

運営統括(非常勤PD)	1名
プログラム主管(常勤PO)	5名
研究領域主管(非常勤PO)	27名

となっている(平成17年1月20日現在)
- 科学技術振興調整費においては、平成16年度より一部の事務(審査、評価、課題管理等)を科学技術振興機構(JST)に委託しており、PD・POはJSTに配置している

科学技術振興調整費におけるPD・POの役割

プログラムディレクター(PD)	プログラムオフィサー(PO)
○ プログラムの見直し等の提言 ○ プログラムオフィサー間の調整 ○ 文部科学省(審査部会)に提示する採択課題候補案の決定 ○ 文部科学省(研究評価部会)に提示する評価結果案の決定 ○ PD・PO会議の招集	(審査) ○ 審査委員候補者の推薦・調整 ○ 一部の審査WGの運営 ○ 審査WG委員への情報提供・助言
	(評価) ○ 評価委員候補者の推薦・調整 ○ 評価WGの運営 ○ 評価WG委員への情報提供・助言 ○ メールレビューアーの推薦 ○ 現地調査・メールレビュー等の実施・とりまとめ
	(課題管理) ○ 担当課題の進捗状況等の把握、研究者との連絡調整、推進委員会等への参画

審査・評価におけるPOの役割について

（審査）

〔 PO 〕

- WG委員の選任（推薦）
- 課題の1次審査（様式・趣旨等の確認）

〔 WG委員 〕

- 書面審査の実施
- ヒアリング対象課題の決定
- ヒアリング審査の実施
- 課題ごとのコメント作成

- WGのコメントを踏まえ、優先順位を付けたリストを作成し、審査部会に提出（PD・PO会議）

- POが作成する優先順位リストについて確認

審査部会は、POから提出された優先順位リストを踏まえ、採択課題を決定。総合科学技術会議の確認を経て 最終決定。

（評価）

〔 PO 〕

- WG委員の選任（推薦）
- ヒアリングの留意点等を作成し、WGに報告

〔 WG委員 〕

- ヒアリング評価の実施
- 評価結果の決定

- 評価結果をもとに評価結果報告書（案）を作成

- POが作成した評価結果報告書（案）を基に、WGごとの評価報告書を作成し、POに提出

- 評価結果を評価部会に報告

評価部会は、評価結果についてPOから報告を受け、最終的な評価結果を決定。総合科学技術会議の確認を経て、プレス公表。

課題管理等におけるPOの役割について

課題管理

- 担当の課題について、その進捗状況を確認
 - ・ 成果報告書等の確認
 - ・ 研究運営委員会等への参画
 - ・ 必要に応じて研究実施者への問い合わせ、現地調査の実施
- 進捗状況を把握した上で、必要に応じて今後の進め方等について助言

その他

- POとしての業務を踏まえ、制度運用に関する助言
 - ・ 審査・評価の進め方
 - ・ 課題管理の在り方

科学技術振興調整費の審査・評価システム

